



# 「子どもの笑顔と安心感を育む 居場所づくり・絆づくり」

## R4 第1回「子ども応援会議」開催！！



地域ぐるみで子どもたちを健全に育むため、岐阜県では地区ごとに、学校関係者や青少年関係団体、社会教育団体等の代表者が集まる「子ども応援会議」を開催しています。今年度第1回の会は、6月15日(水)に関市立小金田中学校で開催されました。

この会は県の家庭教育施策や地区で行われている様々な家庭教育学級、家庭教育支援の取組について知っていただくための「地区家庭教育推進会議」を兼ねており、今回は県の担当者から「地域における家庭教育支援の体制づくりについて」の取組紹介が、郡上市社会教育課から「郡上市家庭教育支援事業 他課との連携した取組について」の実践発表がありました。その様子を紹介します。



### 【県の取組紹介】

岐阜県環境生活政策課の若森美恵子課長補佐からは、家庭教育の位置づけや家庭教育を取り巻く状況、地域における家庭教育支援の体制づくりについての紹介がありました。

#### <保護者・家庭の状況から>

- ・社会が急速に変化していく中で、家庭環境は多様化し、様々な課題や複雑な事情を抱える家庭が増加しており、子どもたちの健やかな育ちをめぐる課題が懸念されている。
- ・家庭教育に関する調査によると、子育ての悩みを話したり相談したりできる人がいない、と答えている保護者が多い。
- ・子育ての情報が欲しい、と感じているのは中学生の保護者が多くなっている。

#### <子どもの状況から>

- ・小中学校では不登校の児童生徒が増加している。
- ・R3年度の学力・学習状況調査によると、1日2時間以上テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマホのゲームを含む)を行っている児童生徒の割合は小学校で47%、中学校で58%。4時間以上行っている児童生徒の割合は、小学校で13.2%、中学校で15.1%であり、依存傾向が心配される。→果たして家族と関わったり語り合ったりする時間はもっているだろうか・・・?
- ・同調査によると、「自分にはよい所がある」と答えた小中学校は4割を切っている。「ありのままの自分でいいんだ」という感情を、学校、家庭、地域全体で育てていく必要がある。

➡ だからこそ、地域ぐるみで真に支援が必要な家庭に寄り添い続ける支援(アウトリーチ型支援)が必要となってきた。

## 【郡上市実践発表】



郡上市教育委員会社会教育課の服部敦子公民館専任主事からは、子育て支援についての課を越えた連携について、「子育て支援に関わる3課」、「0歳児教室『まめっこくらぶ』」、「中学生『あかちゃんふれあい体験』」を中心に発表がありました。



### <子育て支援に関わる3課>

- 郡上市の子育て支援に関わる課は「児童家庭課（子育て支援センター）」「健康課（保健師）」「社会教育課（家庭教育学級担当者）」の3課。
- H20年度に3課が参加する「少子化対策連携会議（子育て支援部門）」が立ち上がった。
- 会では、3課の子育て支援の対象は“子育て親子”であり、“子育て親子の健康で安心な子育て”をどの課も目的としているなど、めざす姿が同じことを確認し、互いの事業内容を理解して効率的・効果的に事業を実施するとともに、「郡上」の子育てを支援するため連携することが確認された。

### <0歳児教室「まめっこくらぶ」>

- 「0歳児保護者の子育て・親育て支援」を3課のテーマとし、0歳児の親子を対象とした「まめっこくらぶ」がスタートした。
- 郡上市は広域に渡るため南部・北部の2会場に分け、対象者全てを受け入れられる回数を設定して「癒し」「楽しみ」と「学び」のある教室を開催している。
- 教室では、「まめっこくらぶ」を終了した後にも参加できる「次の居場所」を紹介している。
- 3課が連携することで、より細かな個別ケースの把握が可能となり、支援の充実につながっている。

### <中学生「あかちゃんふれあい体験」>

- 「多感な時期だからこそ、『命』の尊さを感じてほしい」「男子も女子も同じように体験してほしい」「任意参加ではなく、授業として取り組んでほしい」という願いのもと、市の担当者が市内の中学校を回って理解を得られ、開催に至っている。
- 自身の子育てを振り返り自信につながるなど、参加される赤ちゃんの母親にとっても得るものがある。
- 「あかちゃんふれあい体験」は、まず保健師による座学の事前授業でスタートする。授業では、「命の始まり 奇跡の確率で出会った私たち」「あかちゃんの発達」「守ってほしい4つのこと」について学び、自分の命や相手の命について気づいたり考えたりする機会とする。
- 事前授業後、実際に赤ちゃんと遊んだりお母さんと交流したりする。

「郡上市も、少子化、財政難、職員減、と厳しい状況にあります。願いをもち続ける事、夢を見続けることをあきらめたくないですね」という言葉で発表が締めくくられたのが印象的でした。



工夫がいっぱい!



# オンライン給食参観



関市立桜ヶ丘小学校

【講演会型】

コロナ禍のため、桜ヶ丘小学校では昨年度も給食試食会を実施することができませんでした。しかし、「こんな時だからこそ給食の様子を見てほしい」という役員さんの願いのもと、新1年生の保護者を対象として、今年度は5月にオンラインでの給食参観を実施されました。

参観後、栄養教諭の先生から給食についての話を聞く時間を設けたり、参加することができなかった方のために当日の様子を家庭教育だよりにして配付したりするなど、工夫が満載の家庭教育学級でした。その様子を紹介します。

## 【目的】

子どもたちの給食の様子を知っていただくことで、家庭で子どもとのコミュニケーションを深めたり、給食の栄養について知っていただいたりする。

## 【オンライン給食参観の方法】

- \*事前に保護者向けの案内を出し、給食参観の目的や具体的な方法、当日のミーティングパスコードや注意事項について伝える。(下の「保護者案内」参照)
- \*当日は1年生の各教室にタブレットを設置し、事前にZoomを立ち上げておく。
- \*開始時刻になったら、保護者はスマートフォンやタブレットなどからZoomに入り、給食の準備や子どもたちが給食を食べている様子を参観する。
- \*給食参観後、栄養教諭の先生から、今日の給食メニューや学校給食についての講話を聞く。
- \*講話終了後、アンケートへの協力依頼等について家庭教育学級長の話を聞いた後、各自Zoomから退出する。

## <保護者案内>

桜ヶ丘小学校  
1年生保護者様

令和4年5月10日

関市立桜ヶ丘小学校  
PTA 家庭教育委員長

1年生オンライン給食参観について

新緑の候、保護者の皆さまにはPTA活動にご協力いただきありがとうございます。  
例年、1年生の保護者を対象に「給食試食会」を行い、給食の様子を見ていただいた後、給食を試食していただいております。しかし、新型コロナウイルス感染症がまだ心配される中でありますので、昨年度に引き続き試食会をおこなうことができない状況です。そんな中ではありますが、少しでも、コロナ禍での給食について見ていただけたらということで、「オンライン給食参観」を行います。また、学校給食について知っていたらということ、栄養教諭からの話も計画しておりますので、是非ともご参加お願いします。

【目的】子どもたちの給食の様子を知っていただくことで、家庭でお子さんとのコミュニケーションを深めたり、給食の栄養について知っていただいたりする。

【方法】ご自宅などからスマートフォンやご自身のタブレットからZoomをひらき、給食の準備、給食を食べている様子などを、固定カメラによって配信する映像を見ていただく。映像が見にくかったり音声が聞き取りにくかったりする場合がございますのでご了承ください。

- ZoomのIDとパスコードは、裏面をご覧ください。

【日時】5月24日(火) 12:10~13:00ごろ  
12:15から、栄養教諭の青山先生より、今日の給食の栄養などについてお話しいたします。

【お願い】  
- ミーティングIDとパスコードは、1年生の保護者にしか伝えておりません。他の方には伝えないようにお願いします。  
- 視聴以外の目的では利用しないでください。  
※当日配信を見ることができない方には、給食の様子を知っていただけるように、後日、家庭教育だよりをお配りいたしますのでご確認ください。  
※お子さんに一人一台お貸しするタブレットの準備が整いましたので、そちらでも視聴できます。(事前に家庭でWiFiにつながるかを確認ください)

桜ヶ丘小学校  
1年生  
オンライン給食参観

5月24日(火)  
12:10~13:00ごろ

24日の献立

ヨーグルト  
鶏肉のからあげ(2こ)  
すまし汁  
たけのこごはん

タイムスケジュール  
12:10 配信開始  
12:45 あいさつ(PTA家庭教育級委員長) 青山栄養教諭の話 終わりのあいさつ

日程や献立がひと目で分かります。

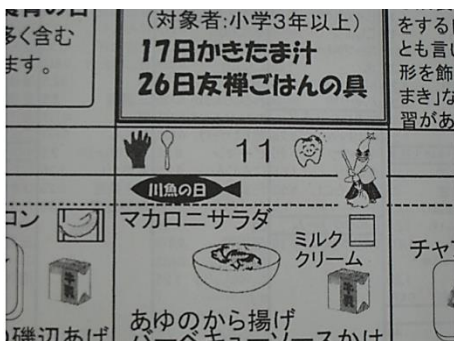


案内文には、「目的」「方法」「日時」だけでなく、「お願い(ミーティングIDやパスコードの取り扱いなど)」についても記載されています。

【栄養教諭のお話から】



給食センターで給食を作っている写真を示しながら、衛生面に慎重に配慮し、大きな鍋や調理器具などを使って調理している様子が説明されました。



木 5	金 6 閉市食材の日
こどもの日 5月5日は、こどもの健やかな成長と幸せを願ってお祝いをする日です。「端午の節句」とも言い、鯉のぼりや武者人形を飾り、「かしわもち」や「ちまき」などのお菓子を食べる風習があります。	筑前煮 さばの生姜焼き 麦ごはん みそ汁
12	13 高野豆腐の煮物

栄養バランスはもちろんのこと、毎月「川魚の日」があったり、季節の行事を意識した献立を取り入れたりと、工夫して献立が立てられていることを知ることができました。

【参加者の感想から(一部抜粋)】



- ・リモートでも普段の様子がよく分かり良かったです。おいしそうに食べていて安心しました。機会があればまた見せていただきたいと思います。
- ・コロナ禍なのでしょうがないですが、せっかくの楽しい給食なのに黙食というのはやはりかわいそうですね。早く、わいわい食べられるようになってほしいです。給食センターの話は興味深く、中の様子も知れて良かったです。企画頂き、ありがとうございました。
- ・みんな黙食のルールを守り、静かに食事をしている姿が印象的でした。コロナが落ち着き友達と楽しく食事ができるようになると良いと思います。家ではあまり食卓に並ばないおかずも学校の給食で食べて「おいしかった」と話してくれる事があり、様々な食材を口にする機会から食事に興味を持ってくれるようになったと感じます。
- ・リモートで参加できたので、仕事の昼休みに見ることができて、とても助かりました！どんな感じで給食を食べているのかよく分かりました。コロナでお話ししながら食べられないのがさびしいですが、おいしそうに食べる顔が見られて良かったです。

【取材を終えて・・・】



「コロナ禍だからこそ給食の様子を見てほしい」という願いのもと、家庭教育委員さんが中心となり、準備や当日の進行を行われました。オンラインで給食参観を行えたことは、入学して間もないお子さんをおもちの保護者の皆さんにとっては大きな安心につながったことでしょう。

単に給食の様子を参観したり給食の話を聞いて学んだりするだけでなく、給食を話題として家庭でのコミュニケーションを深めることを目的のひとつとされていることも素敵ですね。